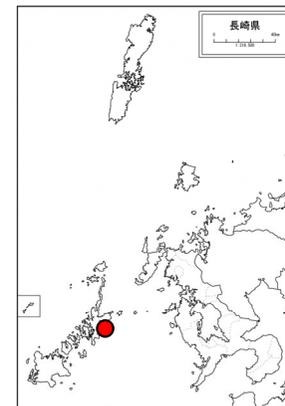


32. 【陸域：来訪者向け駐車場】 定期船乗客増に対応する駐車場の整備：鯛ノ浦漁港（長崎県新上五島町）

概要

- 鯛ノ浦漁港には、毎年約10万人が利用する本土との定期航路が就航しており、今後も乗客が増加することが予想されているが、慢性的な駐車場不足が問題となっている。
- 長期利用財産である野積場を財産処分し、高速船乗客用の無料駐車場を整備。
- 駐車場は毎年約50,000台の利用があり、島民生活環境の向上に寄与している。



背景

- ・鯛ノ浦漁港には、長崎市等を結ぶ定期航路が就航しており、毎年約10万人が利用している。また、平成29年の離島在住住民の運賃低廉化や、平成30年に登録された世界文化遺産の構成資産の一つが島内に立地していることにより、利用客は増加傾向である。
- ・しかし、鯛ノ浦漁港では高速船利用者のための駐車場が慢性的に不足しており、今後さらに利用客が増加した場合には、隣接した漁港用地への駐車や道路上の不法駐車等の発生が懸念されている。

有効活用の内容

- ・高速船を利用する島内住民用駐車場及び観光客向けのタクシーやレンタカー用駐車スペースを確保するために、長期利用財産である野積場用地を財産処分し、無料駐車場を整備。

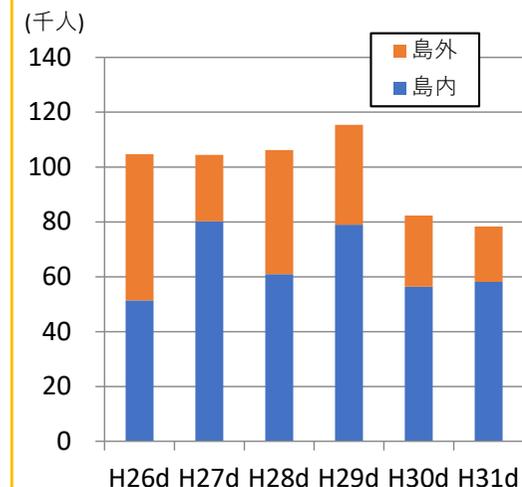
活用した漁港施設	漁港施設用地（野積場用地）
実施時期	R1.7.8
実施主体	新上五島町
活用した事業	特に無し
実施した手続き	財産処分（目的外使用）

鯛ノ浦漁港



効果

- ・交流人口の推移



- ※平成29年度まで駐車場利用者は増加傾向。
- ※平成30年に船会社が経営破綻。別会社が業務を引き継いだが、不安定な運航を不安視し、利用客は減。
- ※平成31年1月以降はコロナの影響で減少